

理事通信²⁰²⁴ 11

つなげよう地域と世界、YMCA と共に
Connecting Local to the World with YMCA

編集発行 / 西日本区事務局

『より良い世界のために、共に』

厳しい残暑も和らぎ、ようやく秋の気配が出てまいりましたが、皆様如何お過ごしでしょうか？季節の変わり目は体調管理にもお気をつけください。今月も各部部会シーズンが続いており、先月に引き続き私自身も大いに楽しんでます。

9月30日開催の中部部会では、名古屋だけに？和やかでアットホームな雰囲気にも包まれた部会でした。ユースリーダーも多く参加され、懇親会で共に楽しみ交流が出来たことは本当に良かったです。アトラクションのマジックショーは、目の前で凝視しても全く仕掛けが判らず・・・少し位判りそうなものですが、本当に摩訶不思議・・・。

翌週、熊本で開催の九州部部会は、明るく、陽気で楽しい部会で、九州人の気質を感じます。オープニングの清吟流田尻晃聖さんの詩吟は、さすが全国詩吟コンクール青年の部優勝の実力派で素晴らしい節回しでした。続いての中高生チームの太鼓は、本当に力強く、ユースの真剣な眼差しと気迫あふれる圧巻のパフォーマンスで大感激でした。

また、12日には唯一東日本区への富士山部部大会に参加が出来、相磯部長所属の沼津クラブとDBC先の京都トップスクラブからも多くのメンバーが駆けつけました。西日本区とは雰囲気が異なり新鮮な感覚でした。YMCA同盟有田主事の講演では、奥能登豪雨被害支援の報告をいただき、既に各YMCAからの人的派遣支援も始まり、11月末までは少なくとも継続される予定です。

部会の他、14日にはびわこ部高島クラブ5周年記念としてマキノ高原でのBBQ例会があり、びわこ部皆さんが中心の会でしたが、理事キャビネット、主任メンバーも参加をし、高島クラブのこれまでの歴史に思いを馳せながら、メンバー他、ゲストの方々も交えた交流など秋の祝日の楽しいひと時を過ごしました。今期様々な会への参加を目標とし、東奔西走の忙しさもありますが、例えば今後の方針等への参考になるお話も多くお聞かせいただき、貴重な時間となっています。やはり現場へ赴き参加すること、部から外へ出る事の大切さ、素晴らしさをひしひしと感じる次第です。

さて、11月5日からドライブで開催のIYC（インターナショナルユースコンボケーション）に西日本区から4名のユースが参加となりました。世界のユースが寝食を共にし、様々なプログラムや交流を行うIYCやAYCは、ユースにとって一生の財産に繋がる貴重な経験となり得ます。2名のユースは阪和・中西部合同EMCシンポジウムへの参加から登録へと至り、ワイズ行事から国際プログラムの参加に繋がる事に大きな意義を感じます。今後このような機運が益々高まっていく事を期待しています。

10月19日には第2回役員会が開催されました。今回は単日開催へと踏み切り、多くの議案・協議案がある中でしたが、時間通り終了できました。区財政の改善に向けた協議などしながら、西日本区として未来を創造するユースへの更なる支援強化に向けた協議なども進めています。これらのことが将来ワイズダム発展と、より良い世界への実現へ繋がる事を切に期待しています。

BF

BF:Building Fellowship(ビルディングフェロウシップ)

BFの目的、運用への理解を深め、実感を持ちながら献金しましょう。

西日本区 国際・交流事業主任 山田 滋己

BFをソフトで翻訳すると”親睦を深める”、”仲間づくり”等があげられます。部や区内の仲間づくりは勿論ですが、国際協会の一員としてエリアや国際の仲間づくりも含まれています。

また、国際のサイト(<https://www.ysmen.org/our-work/programmes/building-fellowship/>)では”クラブ会員同士の親睦を深め、YMI運動におけるリーダーシップを鼓舞することを目的としている”と説明されています。国際での仲間づくりに繋がる機会は、IBC交流、エリアや国際大会への参加が代表的と認識していますが、他にワイズ運動のリーダーになろうとする代表者を選出して送り出す事も一つです。この代表者の送り出しを支援することにBF基金(資金)が使われます(他にも一部、IYC 参加者への補助金、カーボンオフセットプロジェクトへの助成にも充当されます)。

”資金”ということは、当該の目的に投入し、活かされ、何か次に繋がる価値を生む、というものです。BF資金は現金や使用済切手等の形でご寄付頂き、事業に投入する、ご賛同頂いたクラブ、ひいてはメンバー一人一人のお気持ちがこもったもので、この気持ちが結集されて活かされる、とてもとても大切なものです。

ぜひBF資金の目的、運用への理解を深めて頂き、自クラブから代表者を送り出す取組みや帰国後、西日本区内へ得られた知見を共有頂く活動等も含め、全員参加で実感を持ちながら献金もして頂けたら幸いです。

★BF 献金目標は 1 人当たり 1,500 円です



隠れているもので、あらわにならないものはなく、
秘められたもので、人に知られず、公にならないものはない。

聖書の小窓「神がみている」

神様の目によると、隠されているもので表にでてこないものはないということでしょう。神様の目から隠れることもできないし、隠すことのできないのがあります。自分の生き方、態度、考え方です。神様はいつも見ておられる。

P.F. ドラッカーの本にあった話です。フェイディアスという彫刻家がありました。かれはパルテノン神殿の彫刻を任された長でした。無事にその仕事を完成させアテネの会計官に請求書をだしました。すると、アテネの会計官は支払いを拒んだのです。「誰にも見えない彫刻の背中の部分まで彫って、請求してくるとはなにごとだ」というのです。するとフェイディアスは次のように答えたのです。「そんなことはない。神々が見ている」と。

ワイズ活動の心構えとは何でしょうか。結果を出すこと、成果をあげること。もちろんそうですが「神様がみてよしとされる」ことを求めたいと思います。私たちが託されているワイズ活動は、神様から任せられた働きです。神様は見ておられる。

第 36 回阪和部会 実行委員長

鉄谷 明 大阪サウスクラブ

第36回阪和部会 盛況裡に終わる

去る9月14日(土)に大阪市にあるシティプラザ大阪において第36回阪和部会が開催されました。当日は中部から九州部まで126名の参加を得て実り多い部会になったと自負しています。阪和部では従来より部会は部長以下キャビネットの基本方針を確認することに主眼を置いており第一部は他の部からの参加者にはいささか退屈な時間になったものと思われます。第二部は比較的ゆっくりと会食、懇親の時間を取り、楽しい語らいの輪があちこちで咲いていることに安堵いたしました。そして第三部では基調講演として日本高野連審判規則委員長の尾崎泰輔様をお招きし「『二刀流』で生きる幸せ」をテーマに講演をして頂きました。尾崎様はメガバンクに勤務しながら春夏の高校野球大会(甲子園球場)の審判を30年以上されて来られた方であります。有給休暇のほぼすべてを高校野球の審判に充当し、昨年委員長に就任されて審判はやらなくなりましたが、今も後進の指導に情熱を注いでおられます。野球を通じて人生はいかにあるべきか多くの示唆に富んだ講演は参加者の胸を打つものでした。審判に求められる最も大切な素養は日本では「間違えるな」ですが、米国では「尊敬される人になれ」との事も興味深いものとなりました。最後にYMCAの歌を全員で唱和し、満たされた気持の中で閉会となりました。ご参加を賜りました皆さまには心からの感謝を申し上げ、報告といたします。



第 28 回中部部会 実行委員長

早川 政人 名古屋グランパスワイズメンズクラブ

6 月の名古屋で開催された西日本区大会のホストを終え、ほっとしているところ、次の中部部会が追いかけてきました。服部中部部長のクラブとして、グランパスクラブの主催です。会場等の予約準備はしてありましたが、中身については皆無。早速クラブ三役を含め検討に入りました。時間割はどうするのか、バナーセレモニーはどうするのか、アトラクションはどうするのか。数々の意見、アイデアが出されましたが、基本としては参加された皆さんに楽しく、心に残る部会にしたいというのが、一致した思いです。そして会長バナーセレモニーは、今までどの部も行っていないであろう、インタビュー形式にしました。並んだ会長に一言質問で少しでも親しみを感じていただきたいのが狙いです。これはクラブ数の少ない中部だからこそ出来た形と思います。

次にアトラクションは部長の知り合いで、日本指折りのマジシャンにお願いしました。実際に目の前で見るマジックはテレビで見るマジックとは大違い、不思議の世界に浸っていただきました。懇親会では各テーブルを回ってのマジックに、驚きの歓声があちこちで上がりました。

最後に参加の皆様には、口々に「今日は楽しかった！」とのお声を頂き、準備の疲れも吹っ飛びました。ありがとうございました。



九州部部长

大崎 隆義 熊本むさしクラブ

第43回九州部会が10月5日（土曜日）メルパルクで開かれた。

計画と準備に、むさしのクラブメンバーのおかげで当日を迎えることができた。部会への参加者がどのくらいか想像ができなかった。九州部のワイズメンや西日本区の役員、DBC クラブ同士の交流はさすがにワイズメンだと感謝申し上げます。当初のキャバをはるかに超えてしまいました。部会の良さは、九州内のクラブ同士はもちろん、遠方のクラブ会員との交流も一つの楽しみでした。懇親会での、おもてなしが十分にできなかったのではないかと思います。京都部や西中国部のクラブの方と熊本の夜をエンジョイできました。日本一の詩吟の声の良さと若者が躍動した和太鼓の迫力、クラリネットとフルートの木管二重奏、サキソフォン演奏の和洋折衷の響きに感動しながら楽しむことができました。部会場での、司会や受付、案内などメネットや他のクラブのワイズメンの協力には頭が下がる思いです。

これからが九州部が一つになってクラブ会員を増やし、楽しいワイズライフを送るようにやっていきたいと思います。



高島ワイズメンズクラブ5周年記念「バーベキュー例会」

10月14日(祝) 雲一つない秋晴れの下、緑溢れるマキノ高原で、5周年記念の「バーベキュー例会」を開催いたしました。我がクラブは新型コロナ感染期を迎え、西日本区大会も中止となったあの2020年5月にチャーターいたしました。さらに、同年9月初代栗本会長が突然逝去され、クラブ運営にとって、Wの危機に直面したのです。設立時12名でスタートしましたが、このWの危機で、正常なクラブ活動も行えず、翌年には6名が退会、5名でのクラブ運営を余儀なくされました。しかしながら、残った5名の少数精鋭力の甲斐もあり、今期5周年を無事に迎えることができました。私もこの1月、長年(20年)お世話になった長浜クラブから一部の反対をも押切り転籍し、初代会長の思いを引き継ぐべく、第5期の会長を務めております。

今回、我がクラブメンバーとOBの中村さん、ゲストの石田さん、そして絶えず気にかけて、応援していただいたびわこ部の皆さん、さらに、西日本区から、遠路はるばる駆けつけていただいた、鵜丹谷理事・今西書記・的場会計・上杉Yサ・ユース事業主任、山田国際・交流事業主任の5名の皆さま。総勢28名で、5周年記念のバーベキュー例会を盛大に開催できましたことは、感謝の言葉しかありません。

高島クラブ会長 伊藤 文訓



2024年10月27日

会計 東 康彦西日本区理事 鶴谷谷 剛 様
Y' サ・ユース事業主任 上杉徹 様

2024-2025 びわこ部部长 岡村 遍導
書記 井之上 温代
会計 東 康彦

惻
隱

滋賀 YMCA では、10 月に 2 度の能登水災害ボランティアの計画があり、10月26日～27日（1泊2日）にかけて、びわこ部の精鋭が、能登 水災害ボランティアに参加しました。彦根シャトークラブ4名、滋賀蒲生野クラブ1名 スタッフ2名と久保田総主事の8名が参加され汗を流して奉仕していただきました。1日は中学校のテニスコートの泥さらいだったそうです。感謝



熊本YMCAからの来られていたの方々と一緒に写真撮影

メネット 委員会 報告

『メネットがメンバーに』～ワイズライフを楽しむ一つの取り組みとして～

「メネット」とは、「ワイズメネットの略で、ワイズメンの夫人および各個クラブが特別メネットとして入会を認めた女性」とロースターのワイズ用語に明記されています。メネットによって構成された「メネット会」は、「国内外のワイズ活動を支援するとともに、独自の事業を計画、実施することを目的として組織する会」とも記されています。しかしながら、時代と共にメネットの数とクラブへの関わり方は大きく変化しており、検討を重ねた結果、3年前に「メネット事業」から「メネット委員会」へ移行となりました。

メネットの置かれている状況は様々だと推察します。前年度、自クラブから輩出の理事を、メンバーとして支えるために、3人のメネットがワイズメンとして入会した神戸クラブの例があります。今期メネット委員会のテーマとして挙げています『メネットもワイズライフを楽しみましょう！』という考えは持ちつつ、今回ご紹介する事例も今後進めていけたら良い取り組みの一つとしてご紹介させていただきます。

7月6日、和歌山紀の川クラブキックオフ例会で向井千恵子さんの入会式が行われました。

向井さんは、以前メネットの時に3名のスポンサーとなり、その内2名は女性であったため、自身がメネットのままであることに違和感を持ち、今回正式に入会しました。阪和部前期に行われた YYY フォーラムでは、長年ボランティアで行っている和歌山女子刑務所での DJ 活動を報告し、参会者の感動を得ました。メネットがメンバーになった場合の会費については、和歌山紀の川クラブの EMC 問題として検討しているところです。 (坂本智ワイズより)



阪和部大阪長野クラブでは、前年度会長の白井春夫ワイズが亡くなられた後、メネットであった白井公子さんが正会員になられ、会長としてクラブを存続されました。また、コメントだった角崎由紀さんも正会員になられ活動を共にされています。

10月16日の大阪長野クラブ例会に、清水真一 EMC 事業主任のお誘いを受け、激励の意味も込めて参加させていただきました。

エールをお送りするつもりが、故春夫ワイズのご意志を受け継がれた強い思いに心打たれ、私の方が勇気をいただいた素敵な例会でした。今後のクラブの発展を切に願います。



メネット委員会代表
大野智恵

～メネットもワイズライフを楽しみましょう！～



AC2025 実行委員長
田上 正 (熊本むさしクラブ)

第31回アジア太平洋地域大会 (AC2025) に向けての裏話 11月 感謝

その4

AC2025 実行委員長 田上 正 (熊本むさしクラブ)

うちのメネットは毎朝 5 時半に起きる。月曜日から金曜日は私の弁当を作ってくれる。弁当の量が多すぎるのか足りないのか気になるようだが、自分には丁度良いと思う。お弁当のご飯は米粒一つ残さない。弁当箱は 2 度洗いをしてきれいにしておく。クリニックのスタッフから一緒に洗うから置いておいてくださいと言われても、自分で洗う。帰って弁当箱を戻す時「美味しかった、ありがとう」と言うことを守っている。一度、「死ぬほど美味しかった」と言ったら、「ワザとらしい」と叱られた。

新入会

あたらしい
仲間を紹介します。

京都部

入会日：2024/10/1
京都プリンス
中村 隆志

入会日：2024/10/9
京都トップス
秋田 和宜

入会日：2024/9/10
京都ウエスト
橘 守恵

入会日：2024/9/25
京都パレス
松本 善之

入会日：2024/9/25
京都トゥービー
原田 正規

入会日：2024/10/22
京都エイブル
石原 幹也

入会日：2024/10/23
京都パレス
山田 史織

入会日：2024/9/25
京都パレス
江本 将史

入会日：2024/10/9
京都パレス
神谷 ゆり

中西部

入会日：2024/10/1
大阪茨木
川上 裕己



YMCA 同盟通信

西日本区担当主事 有田征彦

■自然のなかで、「人を育てる」～YMCA東山荘～

日本 YMCA 同盟が運営をする YMCA 東山荘は富士山の裾野、静岡県御殿場市に 1915(大正 4)年「明日の世界を担う青少年及び指導者の育成」を願いとして開設されました。多くの青年が集い、自己の生き方を決断し社会に巣立って行きました。1963年、現在の「国際青少年センター」となり、世界 YMCA 大会をアジアで初めて実施、世界 53ヶ国から 400名が参加。1980年以降は全国の都市 YMCA・学生 YMCA、学校、教会のほか、企業研修などにも用いられるようになります。時代の流れの中で役割は変えながらも、自然のなかで「人を育てる」働きを続けています。

YMCA 東山荘の年間(宿泊)利用者数は約 28,000～30,000人です。しかしコロナ禍の 2020年の利用者数は 300人まで減少しました。様々な行政からの補助金、雇用を守り存続のための資金繰りにも奔走しました。職員を近隣の福祉施設へ期間出向を行うなどして、なんとかコロナパンデミックを乗り越え、再生の道を歩み始めています。富士山部、特に御殿場クラブには例会やイベントにもご利用いただいています。今年で 59回目を迎える恒例の「年末年始家族パーティー」は、お一人からご家族で参加できる 5日間のプログラムで、お餅つきや凧揚げなどのお正月ならではのプログラムや富士山、箱根をめぐるツアー、そしてコンサートや落語まで盛りだくさんのプログラムをご用意してお待ちしています。例年、多くのワイズメンにもご家族で参加いただいています。

富士の裾野、前庭に富士山を望み、背後には箱根の山をひかえ、緑豊かな広大な敷地内には、四季折々の草花、野鳥のさえずりをお楽しみいただけます。ラウンドトップである「夕陽(せきよう)の丘」からは、市街地を一望でき、壮大な富士山の全景を眺めることができます。西日本区の皆様にはなかなか、お越しいただく機会も少ないですが、是非、東山荘に足を運んでいただくと嬉しく思います。



部会 予定

2024 ~ 2025 年度 各部部会の開催日程です。



第28回 西日本区大会



ワイズメンズクラブ国際協会
第28回
西日本区大会

Challenge for Change
BE Y's IN KOBE



2025
6.14 sat.

SMILE. IMPACT. CONNECT.

■ 会場 ANA クラウンプラザホテル神戸

ホストクラブ： 神戸クラブ・西宮クラブ・神戸西クラブ・神戸ポートクラブ・宝塚クラブ・神戸学園都市クラブ・芦屋クラブ

ワイズメンズクラブ国際協会

阪和部・中西部合同新年会



ゲスト講師 **権田 康徳 氏**

元阪神タイガーストレーナー
Double Rainbow ASHIYA for Training & Care 代表

アラバマ大学アスレチックトレーニング学部を卒業後、NATA公認アスレティックトレーナー資格ATCを取得。その後、アリゾナ州立大学大学院修士課程へ進学し、修士課程修了後、アメリカで多数のメジャーリーガーのリハビリやコンディショニングなどに携わり経験を積む。2007年から2021年まで15年に渡り、阪神タイガースのトレーナーを務める。

ゲスト演奏 **大黒 恵子 氏**

日本民謡・三弦 鈴乃恵会会主
津軽三味線内田流師範



大阪市在住、小学5年生より民謡を習い始める
津軽三味線、民謡、鳴物をこなすオールラウンダー
下津井節、尾鷲節、淡海節など数々の民謡全国大会にて優勝。
平成27年、産経新聞社主催 第50回産経民謡大賞にて内閣総理大臣賞を受賞。
現在は関西を中心にラジオ出演や海外での演奏など全国の舞台で活躍するとともに、後進の育成にも力を入れている。

2025年1月13日（祝月）AM11:30～14:30

ANAクラウンプラザホテル大阪 13000円

大阪府大阪市北区堂島浜1-3-1

11-1 2025-2026 年度 次期国際会長候補推薦に関する報告

国際協会より、10月25日締切りとし、2025-2026年度の次期国際会長候補の推薦依頼がありました。国際憲法第5条第2項fの規定（国際会長、次期国際会長、直前国際会長は異なる地域より選出される）により、2025-2026年度は、アジア太平洋地域よりシンガポールのエドワード・オン・ワイズが国際会長（予定）である事から、アジア太平洋地域からは当該年度の次期国際会長推薦者を出す事が出来ません。よって西日本区からも『推薦者なし』とし、国際協会へ西日本区理事より提出済です。

11-2 IYC(インターナショナルユースコンボケーション) 2024 への参加状況

11月5日(火)～10日(日)アラブ首長国連邦 ドバイにて開催のIYC2024へ、10月25日の登録締切りをもって、西日本区から4名のユースメンバーが参加となりました(推薦クラブ・人数 京都ウエスト1名 奈良クラブ2名 大阪泉北クラブ1名)。ユースメンバーにとっても貴重な体験になる事と思います。皆さんの帰国後、改めて報告会の開催なども検討をしたいと思います。

11-3 「アジア太平洋地域選出国際議員」候補者推薦の結果報告

10月17日付け西日本区内各クラブ会長へメール発信しました「アジア太平洋地域選出国際議員(2025-2027年度)」候補者推薦のご案内に関し、10月25日の締切りをもって、西日本区内からの候補者推薦はございませんでした。

11-4 第2回役員会の議事報告

10月19日に開催されました西日本区第2回役員会での議案・協議案の議事報告の概要につきましては、議事録準備・調整の都合上、12月号理事通信にて掲載をさせていただきます。

11-5 アジア太平洋地域ショートビデオコンテスト開催のお知らせ

この度、アジア太平洋地域内において、ワイズムーブメントの社会的公益性を喚起し、ワイズダムの社会的存在感を向上させる目的で、地域奉仕活動や自由創作をテーマとしたショートビデオコンテストを開催する事となりました。エリアからの表彰・賞金もごございます。詳細情報を近々区内へ発信いたしますので、積極的にご参加ください。

理事通信²⁰²⁴ 11 編集後記

先月に引き続き、今月も次々部会が開催されています。今月号では阪和部、中部、九州部の部会報告を掲載しました。各部色んな催しがあり、参加して楽しい時間となっています。また、高島クラブからも5周年の記念例会の様子が届きました。10月20日には西日本区役員会が開催されました。皆様に見ていただけるよう、簡易版ですが議事報告を次号に掲載予定です。今月は奥能登水災害の支援に関する話を、あちこちからお聞きました。1月の震災に続き大きな被害状況が分かってきました。YMCAやボランティアの皆様のご協力で、震災に合わせた方が少しでも心穏やかに過ごしてもらえるよう、お祈り申し上げます。また引き続き、ワイズメンの皆様のご協力も、どうぞよろしくお願いいたします。

